

【樹木・草花の部屋】

アガパンサス（ユリ科アガパンサス属 Agapanthus ）

和名；アガパンサス **別名**；ムラサキクンシラン **英名**；

アガパンサス目 宿根草

原産地；南アフリカ

花言葉；誠実な愛、恋の季節、恋の便り、恋の訪れ

花の色；紫、白、青



⇒ 写真－1 アガパンサスの花

撮影日：2004年6月20日

撮影場所：奈良県大和郡山市

M邸にて

撮影者；Mさん

地際から光沢のある細長い葉を何枚も出し、その間から花茎を長く伸ばし、先端に数十輪の花を放射状に咲かせます。花の形は先端の大きく開いたラッパ型で横向きに咲くものが多いようですが、下向きや上向きに花が開くものもあります。

冬でも葉が枯れない常緑種と、枯れて休眠する落葉種の2タイプ、その2つの中をとった中間タイプの種もあるそうで、我が家は落葉種。

<ちょっと一言>

地中には茎が肥大して球根のようになった肉質で水分のたっぷり含んだ太い根茎があります。耐寒性はかなりあるようで、我が家では全くの放置状態。屋外の花壇で十分、生育します。放任すると、どんどん大きくなるので、3～4年に一度は株分けして、できるかぎり広がらないようにしています。

クロンキスト体系ではユリ科、新エングラータ体系ではヒガンバナ科、APG分類体系ではアガパンサス科又はヒガンバナ科に・・・。

単に「アガパンサス」というと通常はムラサキクンシラン(*Agapanthus africanus*)のことですが、[クンシラン](#)とは縁もゆかりもない別属の植物です。